

# あかるく かしこく たくましく

令和7年3月5日 No. 46 文責：校長 佐野紳二

## 進級おめでとう② 2023年度入学・2年生のみなさんへ

朝が来ると まど・みちお

朝がくると とび起きて  
ぼくが作ったのでもない  
水道で 顔をあらうと  
ぼくが作ったのでもない  
洋服を きて  
ぼくが作ったのでもない  
ごはんを むしゃむしゃたべる  
それから ぼくが作ったのでもない  
本やノートを  
ぼくが作ったのでもない  
ランドセルに つめて  
せなかに しょって  
さて ぼくが作ったのでもない  
靴を はくと  
たったか たったか でかけていく  
ぼくが作ったのでもない  
道路を  
ぼくが作ったのでもない  
学校へと  
ああ なんのために

いまに おとなになったら  
ぼくだって ぼくだって  
なにかを 作ることが  
できるように なるために

私が小笠原小学校の校長として赴任した昨年、一緒に小笠原小学校に入学したのが今の2年生です。この2年間で、小さくて可愛かった1年生だった子どもたちが、立派なお兄さん、お姉さんの2年生に変身したなあ…と、いろいろなところで感じています。特にそう思ったのが、2学期の終わりに生活科で行った「おもちゃ祭り」の時でした。1年生を教室に迎え、1年生が楽しめるようにといろいろ気遣っている2年生の子どもたちを見て「本当に大人になったなあ」と感じました。

そんな2年生をひと言で表すと、「優しい」という言葉が私の中では最もぴったりとあてはまる言葉になります。2年教室にお邪魔した時にも、1年生のような熱烈歓迎という感じはありませんが、いつ行ってもとても自然な姿で接してくれます。「今、何やってるの？」なんて尋ねてみても、どの子に聞いてもとても丁寧に答えてくれるのが2年生です。1年生の時には金川の森、2年生ではオオムラサキセンターと、校外学習にも一緒に行かせてもらいましたが、お弁当を食べるときにもみんな仲良く、自然にグループができる姿には感心しました。また、毎朝ウエルシア南の横断歩道に立っているときにも、2年生の子どもたちはとても爽やかなあいさつをしてくれる子が多くいます。夏は暑く、冬は寒さが堪える朝の旗振りですが、2年生をはじめとする子どもたちの元気なあいさつには、私たちも元気をもらえる気がしています。

そんな2年生のみなさんにプレゼントするのは、「ぞうさん」や「やぎさんゆうびん」などの作詞でも知られるまど・みちおさんの詩です。この詩は、私にとっては谷川俊太郎さんの「歩くうた」とともに、詩の素晴らしさを教えてもらった（そして「誕生日おめでとう」を書き始めるきっかけにもなった）忘れられない、大切な詩です。平易な言葉で書かれて

いますが、日常の一コマから子どもたちの心を上手に切り取った、とても素晴らしい詩だと思います。4月には3年生になり、新しい教科の学習がたくさん始まる2年生に、希望にあふれた1日を重ねていくことの大切さを教えてくれる、まど・みちおさんの詩をプレゼントします。



## 進級おめでとう③ 2022年度入学・3年生のみなさんへ

友 達 高丸もと子

目があって笑ったり  
声をかけたりするのも  
友達だけれど  
無理して笑わなくてもいい  
友達っていいな

やさしい言葉や  
励ましの言葉なんか  
いらないときもあるって  
知っている友達っていいな  
自分でしか乗り越えられないと  
わかってくれているから

傷つきやすいから  
自分にバリアをはっているだけ  
そのバリアを破って  
本当の心がぶつかりあうときに  
できる傷なら  
こわくはない

そう思っている人の  
友達が  
わたしだったらいいな

ともだち 谷川俊太郎

ともだちは ばかみたいに  
わたしを わらう  
ともだちは すごいかおで  
わたしを にらむ

わたしも ともだちを  
わらってやる にらんでやる  
そのあとで またあそぶ  
わたしたちは ともだち

3年生とは今年の途中から一緒に勉強をさせてもらいました。最初は図工、2学期からは理科の学習をさせてもらい、つい先日まで一緒に磁石の勉強をしました。3年生のみなさんにとって、校長が授業に来るということはあまり歓迎するようなことではなかったかと思いますが、私自身にとっては久しぶりに教科の学習を担当させてもらい、(小笠原小学校で5年生の理科の授業を担当させてもらって以来、4年ぶりの教科指導でした)改めて子どもたちと一緒に勉強することの楽しさと、授業をすることの難しさを感じることができました。そういう意味でも、3年生のみなさんにはとても感謝しています。

さて、そんな3年生ですが、3年生の印象をひと言で表すと「パワフル」という言葉になるのかなあ~と思います。とにかくエネルギーに満ち溢れているというのが3年生の子どもたちの印象で、授業をしているときも、校外学習と一緒に連れて行ってもらったときも、どんなときにも活力に溢れていたのが3年生の子どもたちです。

そんな3年生の姿で、私が特に印象に残っているのは、昨年の6年生を送る会の時に当時2年生だった子どもたちが見せてくれた、6年生への応援パフォーマンスです。運動会でよく使われる「ゴーゴーゴー」の曲に合わせて



6年生に贈った応援歌は、聴く人に元気と勇気を与える素晴らしいパフォーマンスだったことをよく覚えています。そんな3年生のもっている素晴らしいエネルギーがひとつになり、発揮されれば、高学年になって学校を支える立場になったときにも、きっと小笠原小学校をますますいい学校にするための力として働いてくれると思います。

来年4年生になり、ますます友達との関わりが深く、強くなっていく3年生のみなさんにプレゼントするのは、同じ「ともだち」という題名の2つの詩です。これからもっともっとたくさんの経験をし、いろいろな人たちと出会っていく中で数多くのことを学んでいくであろう3年生、そんなみなさんに2人の詩人からの「ともだち」のあり方を示すメッセージをプレゼントします。



私がかつて書いていた「誕生日おめでとう」はA4サイズ1枚が基本だったので、今回もそのように書いています。次号は4年生と5年生への「進級おめでとう」を書かせていただく予定です。